

政策厚文委員会会議録

平成30年2月15日(木)
氷見市庁舎委員会室
開会 午前10時00分
休憩 午前11時58分
再開 午後 1時00分
閉会 午後 2時50分

- 1 案 件 平成30年度予算案中 政策厚文委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 6名
小清水委員長、正保副委員長、濱井委員、上坊寺委員、山本委員、萩山委員
- 3 委員外議員 嶋田議長、稲積議員、越田議員、萬谷議員、竹岸議員、松原議員、阿字野議員
積良議員、萩野議員、谷口議員 椿原議員
- 4 職務のため出席した事務局職員 坂本事務局長、西島副主幹
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、前辻副市長、山本教育長、藤澤市長政策・都市経営戦略部長、高橋総務部長、草山市民部長、荒井教育次長、出戸企画政策課長、森田商工・定住課長、平田芸術文化振興室、角井スポーツ振興室長、東軒教育総務課長、中館学校教育課長、戸田福祉介護課長、東海子育て支援課長、田中市民課長、坂本健康課長、七田病院事業管理室長、山口環境・交通防犯課長ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 経過及び結果
 - ・小清水委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、説明を了承することとした。(主な質疑応答は別紙のとおり)。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

平成30年2月15日

氷見市議会政策厚文委員長

小清水勝則

主な質疑応答

<p>企画政策課 萩山委員</p>	<p>昨日の委員会もそうだったが、いろんな事業の統廃合によって、移行という形で説明されているのだが、市長が言われてきたこの春の組織の改廃ということとリンクしているのか。</p>
<p>藤澤部長</p>	<p>少なくとも市長政策・都市経営戦略部については、組織の統廃合は意識せずに、事業を円滑に進めるという視点と効果性を発揮するという視点のみで今回の統廃合をさせていただいている。</p>
<p>萩山委員</p>	<p>ということは、組織の改廃によって、今は藤澤部長の所管でやっている事業でも、違う部、課でやるという可能性もあるということでしょうか。</p>
<p>藤澤部長</p>	<p>そうである。もしかしたら事業の中でもいくつかの課にまたがる事項があるのではないかと思いますので、その辺は整理したい。</p>
<p>上坊寺委員</p>	<p>28 大学連携推進事業費について。専門性のある大学とは名城大学、慶応大学等々あると思うが、そのほかに大学はあるか。</p>
<p>出戸課長</p>	<p>地域の課題が複雑化しているので、専門性を必要とすることが多々ある。それぞれの課題に対してどう取り組んでいくかというところで、どういう専門性、どういう学部と組む、どういう大学と組むということは、これから模索していかなければならないと思っている。</p>
<p>上坊寺委員</p>	<p>31 ポイント制度導入検討事業費について。市民の参加を促す制度とはどのような行動が対象となるのか。例えば、本会議や委員会の傍聴は対象に入るのか。</p>
<p>出戸課長</p>	<p>4月から6月までの間に詳細な制度設計をしたいと思っているが、今念頭にあるのが健康寿命の延伸というところにターゲットを絞り、そこから必要な取り組みについて整理し対応したい。</p>
<p>上坊寺委員</p>	<p>37 地域おこし協力隊事業費について。現在の募集の状況は。</p>
<p>出戸課長</p>	<p>今募集中で来週締め切りとなっている。現在までの応募は2件である。</p>
<p>正保委員</p>	<p>11 氷見魅力発信事業費について。観光課で350万円の費用をかけてPR動画を制作された。企画政策課でそれを活用して違った形にされるのか。横断的な動きはあるのか。</p>
<p>出戸課長</p>	<p>総合計画を策定する際に課題等を洗い出した中で、氷見の魅力を発信す</p>

	<p>ることが大切でもっと積極的にやるべきではないかと委員の方から意見をいただいた。それで、広報公聴の立場から氷見にとって一番誇りに思う氷見から見る立山連峰をライブカメラで発信していきたいということでこの形にした。</p> <p>観光課とは協議していない。また、観光課のプロモーション動画は承知していない。</p>
萩山委員	<p>この後の組織改廃の中で、今言ったような複雑な形でいろんな課に共通するもの、または関連するものがまたがっているものが、比較的少なくなるように集約されるのかということなんだが、そういうことも含めて検討しているということでしょうか。</p>
林市長	<p>今回のいろいろな事業の再編は、特に課が変わるからというわけではない。先ほど部長が言ったとおり、まとめるべきはまとめる、あるいは時代背景的に終わったものは終わって、新たな事業としてスタートするものはスタートするという中で、今後、部、課を再編した後、どの課がそれを担当するのか煮詰めていきたい。</p> <p>それと、今ほどの観光プロモーション動画は観光に特化したものだと思うので、今回提案の氷見の魅力を伝えるというのは観光だけではなくて、氷見の自然や文化をトータルとして、氷見全体を発信するようなプロモーション動画にしていきたい。当然ながらこれまでの成果も生かしながらつくっていきたい。</p>
正保委員	<p>財源内訳でその他の500万円というのは何か。</p>
藤澤部長	<p>ふるさとづくり基金からの繰入金で充当している。</p>
山本委員	<p>29 インターチェンジ周辺利活用検討事業費について。どのようなイメージか。工場関係か、流通関係か。</p>
出戸課長	<p>その内容を決めるということで、その基礎調査をしたい。</p>
山本委員	<p>具体的には考えておられないということか。</p>
出戸課長	<p>その調査結果を踏まえて市としての方向性を決定していきたい。</p>
上坊寺委員	<p>38 自治基本条例検討事業費について。平成29年度で検討を終えて終了ということだが、その実績と成果は。</p>
出戸課長	<p>検討委員会でこれまで27回検討いただいた。これからの氷見市の行政にとって必要なものについて形にしていくことを検討してきた。行政の内</p>

	<p>容の中には、総合計画のことや行財政運営のことがあり、その中で実務的に必要な個別事項について検討し、それを形としてつくり上げていこうと思っている。</p>
<p>商工・定住課 萩山委員</p>	<p>25 魚食文化リーディング事業費について。昨日の委員会で水産振興課が氷見のおさかな給食推進事業費80万はこちらのほうへ統合するという説明だった。統合なので増えると思ったが、減額になっている要因は。</p>
<p>森田課長</p>	<p>水産振興課からの事業は増えるが、それよりも29年度事業の中で行っている消費動向調査の分の減額が大きいためである。</p>
<p>萩山委員</p>	<p>お魚をどれだけ消費するのかという消費動向調査の結果は。</p>
<p>藤澤部長</p>	<p>予算は商工・定住課にあるが企画政策課で実際には行っていた。この調査は国に準じてやっており、たいへん難しい調査である。自分の収入を計上するようなこともあり、調査員がなかなか確保できない。少ないサンプルではあるが、結果は今取りまとめ中である。調査員の確保が難しいこと等を鑑みて、新年度は予算を減額した。</p>
<p>正保委員</p>	<p>27 地域内経済循環促進事業費について。商工会議所とはどこまでこの事業の効果を検証されたのか。</p>
<p>森田課長</p>	<p>これまでは、6億円プロジェクトを通して市内で買いましょうという意識の醸成のみの事業であった。そこで、何か具体的な事業を始めたいということからこの事業が始まった。出生祝い金について言えば、この商品券の使えるお店が仮にたいへん少ないと、非常に価値の小さいものになってしまうので、商工会議所では市内の幅広い事業者に参加していただくため、どうやったら使いやすくなるのかを詰めているところである。</p>
<p>正保委員</p>	<p>新年度が今までの6億円プロジェクトの継続で、新たな出発点という意味合いでよいか。</p>
<p>森田課長</p>	<p>実践的な事業ということでは新たな出発点である。</p>
<p>濱井委員</p>	<p>話し合いのリードタイムはどのくらいまでで、実際にいつから券が購入できるのか、見通しを。</p>
<p>森田課長</p>	<p>ゴールデンウィークが始まるまでに使えるようにしないと価値も少し下がるということで、遅くとも4月末までにはやりたい。</p>
<p>芸術文化振興室 萩山委員</p>	<p>1 芸術文化振興事業費について。市民会館が閉鎖になったための代替施</p>

<p>布尾室長補佐</p> <p>萩山委員</p> <p>平田室長</p> <p>萩山委員</p> <p>平田室長</p> <p>正保委員</p> <p>平田室長</p>	<p>設使用が増えるということだが、今までの実績は。</p> <p>老人クラブ連合会の芸能大会、美術協会の会員展、男性合唱団が毎回助成を受けている状況である。新年度は氷見高校吹奏楽部の定期演奏会で新たに申請が見込まれるため、今回増額するものである。</p> <p>5 公民連携による新文化施設計画推進事業費について。要求水準書をつくるということと、官民連携の基本的調査をされるということだが、前の市政で官民連携と打ち上げてから久しいが、その間にこの事業に対して興味を持たれていろいろとリクエストしてこられた方はいるか。</p> <p>富山県の中でも、富山市を中心とされたところで官民連携のプラットフォームづくりをされており、そのフォーラム等に参加したときに民間企業が何社かいた。また、富山市総曲輪での再開発も公民連携でされており、そちらの事業者からも打診があった。公民連携でやる場合にはなるべく地元の事業者がかかわれるようなそういうコンテクストをつくっていきたいと思っているので、まったくゼロということではなく、興味を持たれている企業はあった。</p> <p>昨年の4月から新たな体制でこの事業に臨んでいるが、今言われた方々は引き続きこの事業に関心をお持ちだと感じているか。</p> <p>今回の予算の中の民間参入可能性調査、サウンディング調査の話もしており、その際には参加していただけるとのことである。</p> <p>3 市民文化プログラム推進事業費について。前年比ほぼ半額になっているが、今後福祉や教育分野にも力を入れていかなければならないという面では、この金額で29年度と同様の効果を上げていけるのか。</p> <p>減額の主なものは臨時職員の人件費であって、プログラム自体を精査し、内容に関して遜色のないようにもう一度熟考した結果、この金額で同じ効果を出すものが提供できると考えている。</p>
<p>スポーツ振興室</p> <p>萩山委員</p> <p>角井室長</p> <p>正保委員</p>	<p>8 スポーツ合宿誘致推進事業費について。早稲田大学応援部が3年前に来られたときの事業費のほとんどを占めたのがPRビデオ制作費。この成果品はどのように活用されているか。</p> <p>新たな合宿誘致をするときのPR物品にしようと思っていたが、まだ新たな合宿誘致の営業に行ったことがなくて、使用したことがない。</p> <p>26 ふれあいスポーツセンター管理運営事業費がマイナスなのに24 市民</p>

	<p>プール・トレーニングセンター管理運営事業費がプラスなのは、二酸化炭素排出抑制対策事業費の効果もありながら、市民プールに関しては燃料費が上乗せでプラスということでしょうか。</p>
角井室長	<p>市民プールは、二酸化炭素排出の抑制事業を来年度遅くしてもらおう予定で、ふれあいスポーツセンターほど効果が上がらないということで、逆に今年の燃料単価のほうが上回っている。</p>
	<p>ふれあいスポーツセンターは、夏を目途にするとなれば、半年間水銀灯がLEDになるので大幅に削減が見込まれるので減額になる。</p>
正保委員	<p>ほかのスポーツ施設でこのような抑制できる必要なところはあるか。</p>
角井室長	<p>屋内ではほかにB&G海洋センターがあるが、アリーナの面積が小さいので今の水銀灯でもいけると思っている。</p>
萩山委員	<p>18 氷見シーサイドマラソン大会実施事業費について。今回は40回ということでゲストランナーをお迎えするということが、具体的にどのような方を考えているか。</p>
角井室長	<p>体育の日あたりはアスリートの方もたいへん忙しいが、陸上関係の方々から昨年富山マラソンに来られた藤原新さん、野尻あずささん、山崎勇喜さんの3人にアクションをかけていただいて、よい返事をいただいている。</p>
萩山委員	<p>その方々の謝礼もこの増額の中に見込んであるか。</p>
角井室長	<p>増額の中に見込んでいます。一般財源なので、何かいい制度がないか探している。</p>
萩山委員	<p>学校関係の皆さんが来られているのに教育委員会としての顔がなかなか見えなかったと言われた父兄がいらした。市長部局の行事でやっているのはわかるが、部長どう思われるか。</p>
藤澤部長	<p>教育は学校教育と社会教育があって、今は社会教育ということで私どものほうで所管している。教育委員会関係の出席がなかったという指摘ですが、私が見る限り学校の関係者はいらした。たまたま事務局のほうは行事が重なっていたと理解している。こういう小中学生がたくさん参加する行事については、教育委員会と連携してやらなければならない。</p>
上坊寺委員	<p>今回の10キロコースは30回記念大会と同じコースか。</p>

角井室長	同じである。
教育総務課等 山本委員	27-13 図書館資料購入費について。地域のまちづくりと書いてあるが、地方創生関連のコーナーが弱いと思うが、購入の予定はあるか。
鎌仲館長（図書館）	まちづくり専用のコーナーを設けているが、4人の図書館司書が毎月の新刊の中から選んで、毎月六、七冊ずつくらいは入っている。
萩山委員	25-18 廃校施設利活用事業費について。旧朝日丘小学校体育館の床の張替えが終わったということだが、この建物の耐震はどうだったのか。
東軒課長	昨年耐震診断を行っており、結果を12月末にいただいている。現在どのような対応にしていけるか検討しているので、追って報告する。
萩山委員	あの体育館のグランドデザインの中での位置づけは、こども園と併設して利活用すると。ここは耐震のI s値にかかわらず引き続き利用するというのでよいか。
山本教育長	耐震診断の結果と補強するための費用など、総合的に検討中である。
萩山委員	使えないと判断する可能性もあるということよいか。
山本教育長	耐震補強すれば使えるが、その費用と他の施設を使うようにする費用とを比較し、総合的に判断したい。
萩山委員	廃校の施設なので、国の支援を受けられるメニューはないということよいか。もしやるとすればすべて単費になるということか。
山本教育長	基本は一般財源だが、過疎債とか使えるかどうか検討中である。
萩山委員	市民病院のときのように、新しい朝日丘小学校体育館をつくる時に旧の体育館を更地にするような関係は生じてこないのか。
山本教育長	国には継続して使用したいということで許可を得て使っている。国からこの後学校施設以外のものとして使い続けるのか、そろそろ結論を出してほしいという連絡はある。
萩山委員	今の教育委員会の判断によっては、グランドデザインの中での位置づけが変わるということもあり得るということよいか。
前辻副市長	その点についてはグランドデザインのほうでも検討しており、使うよう

	<p>な話で進めていたが、文科省の考え方もあるので、その辺を精査する必要がある。場合によっては、グランドデザインのほうも見直す必要が出てくるかと思う。</p>
正保委員	<p>他の課（企画政策課）の氷見の魅力を発信していくという観点から、今回教育総務課の所管では何か協力体制を取っていくような事業があるか。</p>
東軒課長	<p>ふるさと教育推進事業で、大境洞窟・朝日貝塚発見100周年、布尾山古墳発見20周年、大伴家持生誕1,300年の記念行事等が氷見の魅力を発信できるような事業である。それに加えてふるさとを大事にするような機運も高めていきたい。</p>
正保委員	<p>大伴家持生誕1,300年祭だが、高岡市との連携もあると思うが、氷見市としては新年度どれくらいの事業を計画しているか。</p>
小谷課長補佐	<p>記念イベントの予算は100万円で、内容としては十二町潟水郷公園にステージを組んで、小学生等に氷見で詠んだ歌の朗唱をしていただくとか、そのステージを活用して万葉にゆかりのある演舞をしていただくようなことを計画している。あわせて博物館では特別展の開催を予定しており、年間を通じ大伴家持生誕1,300年の機運を高めていきたい。</p>
萩山委員	<p>図書館について、そもそも利用者数はどのように推移しているか。</p>
鎌仲館長（図書館）	<p>近年はだいたい横ばいで、貸出者数は年間3万3千人くらいである。今年度の1月は大雪だったので落ち気味である。</p>
萩山委員	<p>昨今、本離れが叫ばれている。昔からあった本屋がなくなるとか、なかなか本に触れ合う機会がない。この実態に対して、より魅力ある図書館としての取り組みがあれば紹介いただきたい。</p>
鎌仲館長（図書館）	<p>小学校、保育園、施設などを回る移動図書館活動を行っている。新年度でお願いしているが電子書籍を導入することにより、今まで図書館に来られなかった方々にも図書館を利用していただこうと考えている。</p>
山本教育長	<p>補足で、学校でやっている読書意欲を高めるための取り組みを紹介したい。多くの学校では朝読書といって朝の10分間ほど本を読む経験をさせている。それから小学4年生がやる2分の1成人式では、図書館へ行って自分の図書カードを作成している。</p> <p>学校内にも学校図書館があるのでその充実を図っているところではあるのだが、部活動や塾、その他によってなかなか意欲を高めることは難しい現状である。</p>

<p>学校教育課等 濱井委員</p> <p>光安所長（教育総合センター）</p>	<p>31-12 外国語教育推進事業について。他市に先駆けてやられる授業内容のソフト部分の準備が十分できているのか心配だが。</p> <p>本年度から外国語教育推進委員会を立ち上げ、小中連携外国語教育氷見型プランを作成している。文部科学省が示しているものに則って、さらに氷見独自の味というか特色を加えた形で、4月から推進できるようにすでに年間指導計画を作成している。また、先生方への研修会、実際に小学校の先生がやっていくための実技研修会も本年度すでに実施して、4月からのスタートに備えている。</p>
<p>福祉介護課 山本委員</p> <p>戸田課長</p> <p>山本委員</p> <p>戸田課長</p> <p>山本委員</p> <p>戸田課長</p> <p>山本委員</p> <p>戸田課長</p> <p>山本委員</p> <p>戸田課長</p>	<p>介護保険料について。30年度の953円のアップのうち基金取り崩しが867円で、実際の保険料のアップは86円ということだが、基金をこれだけ取り崩す理由は。</p> <p>第6期計画期間中の給付費を見込んで保険料をいただいております、その給付費の見込みより実際の給付費が下回って若干の余りが出た分を、基金として積み立てている。その余った分は納めていただいた被保険者の方にお返しするという事で、ほとんどの基金額を第7期の保険料抑制に使うという性格のものである。</p> <p>第6期でこれだけ余裕が出て、第7期にこれだけ補てんするというのはわかるが、必ず次の期で使ってしまうなければならないのか。</p> <p>基本的にはその計画期間中にこれだけの支払い給付があるからそれに見合う保険料をいただくという制度設計なので、若干の余裕があったということであれば納めていただいた被保険者の方にお返しするという事で、国のほうもそういった方針を示している。</p> <p>平準化はできないのか。</p> <p>この基金5億5,000万は第7期の3年間の保険料にそれぞれ充当するという事で、来年度1回で5億5,000万を使うというものではない。3年間分として抑制を図るものである。</p> <p>将来に向けて第7期、8期、9期と一度に20%、30%も保険料が上がるという危険性はないということか。</p> <p>見込みと給付が一致していれば基金というものは発生しない。極端に給付費の見込みが大きくなれば当然それなりの上昇はあるかと思うが、そういったことがないように国、県等にも配慮したいろんな支援をお願いして</p>

<p>山本委員</p> <p>戸田課長</p>	<p>いかなければならない。</p> <p>高齢者の方は一度に上がると年金が減ってくる中で負担が大きい。1年に一、二%ならいいが、20%も上がると生活がたいへんになると思うので、なるべくならその間くらいになるように。</p> <p>急激な上昇がないように、市として予防事業にも取り組んでいる。</p>
<p>子育て支援課 正保委員</p> <p>東海課長</p> <p>正保委員</p> <p>東海課長</p> <p>濱井委員</p> <p>東海課長</p> <p>正保委員</p> <p>東海課長</p> <p>正保委員</p>	<p>40 広域入所施設給付事業費について。実際に利用されている方は何名くらいいるか。</p> <p>予算では24名から28名と増えている。保育士の処遇改善分も増要因である。</p> <p>新たに出生祝いの制度をされるが、生まれてお金を手厚くして、仕事や家庭の事情等で氷見にお子さんを預けられない等々あって、転出していくようなパターンが生まれてくれば、氷見市の人口はなかなか増えてこないと心配している。その辺の何か対策は考えているか。</p> <p>結婚しても氷見にいていただきたいという思いで、氷見全体で子育てしやすい子育てのまちをつくっていくという思いで今回、出生祝い事業費を要求した。決してこの商品券をお渡しするから生んでくださいという意味ではなくて、子育て支援にやさしい住みたいまちとして選んでいただきたいと思っている。</p> <p>商工・定住課では地域内商品券の発行はゴールデンウィーク前を目指してということであった。出生届けを出しにこられたときに先に買い上げておいた券を渡すのか。実際に券ができるまで1ヶ月ほどあるので、手続きをどのように考えているか。</p> <p>市民課で出生届けを出してもらい、そのまま子育て支援課へ寄っていただき、出生祝い金の申請をしていただく。それを受けて支給決定通知を月末にお送りするので、その引換券を持って商工会議所へ商品券を取りに行くという段取りになっている。</p> <p>出生届けを4月1日以降ということによいか。</p> <p>4月1日に生まれたお子さんから該当ということである。</p> <p>生まれた日が1日違ったこととということもあるので、出生届けの提出ということで検討できないか。</p>

東海課長	生まれてから2週間以内に届出をしなければならない。そうすると4月過ぎてから届けを出そうという方が増え、意図的なことも考えられる。この事業は総合計画とあわせて4年間となっているので、効果を見て4年後に検討したい。
健康課 萩山委員 坂本課長	9 健康診査事業費 について。高齢者になるとがん検診などいろんな検査がもしかしたら負担になる可能性があるということで、地域の行っている健診に年齢制限を設けるという政府の動きがあると聞いているが、県を通じての話というのは何かないか。 特にない。
病院事業管理室 萩山委員 七田室長 萩山委員 七田室長 萩山委員 前辻副市長	2 委託料 について。昨年行った文化財の試掘調査の結果はどうだったのか。 建屋を建てる予定の下の方が埋蔵文化財の包蔵地ということで昨年9月に試掘調査を行った。その結果、平安末期から鎌倉初期にかけての土器や陶器のかけらが一部出たので、建屋工事着工前には本調査を行う予定にしている。 建屋を建てる場所というのは埋蔵文化財の有無によって大きく左右されるようなことはないということでしょうか。 教育委員会からは埋蔵文化財本調査が終わって記録が取れば、建屋の工事については着工してよいとの返事をもっている。 このがんセンターのことについて、地域のほうではどういう概要でどの程度の設備でという詳しいことが知らされてないことによって、誤解を生じている部分も多々ある。これから事業を進めるに当たって丁寧な事業運営をお願いしたい。先日も副市長に地元のほうに来ていただいて第一報目の説明をしていただいたが、これを契機に今後もそのような機会をもつていただくようお願いしたい。 先般も鞍川協議会で説明させていただいたが、今後とも地区の方には丁寧に説明し、御理解いただくように進めていきたい。
環境・交通防犯課 正保委員 山口課長	3 高齢者運転免許自主返納支援事業費 について。30年度は何名で予算を組まれたか。 150名を見込んでいる。なお、70歳以上の免許取得人口は1月1日現在で6,320人である。

正保委員	2万円ずつ150名だと300万円では。
山口課長	実際にタクシーなど使った人にあげており、これまでの実績等を踏まえて予算取りしている。
山本委員	18 二酸化炭素排出抑制対策事業費について。朝日丘小学校、南部中学校の予算だけ400万円と一桁小さいので、省エネの設備は完了しているのか。
山口課長	新しいのでほとんど完了していると聞いている。ここは制御装置の交換だけである。